

平成31年度



# 白川小だより

第8号

令和元年10月29日(火)

## ふるさとの自然や文化遺産に触れる

～全校遠足実施～

校長 奥村 哲也

10月21日(月)に全校遠足を実施しました。広野でスクールバスを降り、大山白山神社までの片道約3.5kmの山道を歩きました。たどり着いた社殿で絵天井を見たり神社の由来について説明を聞いたりした後、展望台まで登りました。曇り空で肌寒い日でしたが、参加した子ども達は、みんな元気に最後まで歩ききることができました。

今回の遠足では、地域の皆様に大変お世話になりました。落ち葉の掃除や危険箇所の表示など登山道を整備して下さったこと、社殿や社務所、トイレなどを準備し案内や説明をして下さったこと、子ども達の様子を見守りながら一緒に登っていただいたこと等、誠にありがとうございました。



さて、今年度示された第3次岐阜県教育ビジョンでは、「ふるさとに誇りをもつ子の育成」が施策の重点として前面に打ち出されています。子ども達がふるさとに誇りをもつためには、ふるさとの「人・もの・こと」と親しむ体験を重ねることが大切です。その体験の濃さが、ふるさとを思う気持ちの深さにつながります。今回の遠足で、子ども達が「ふるさと白川」の自然や文化遺産に触れ、更に、地域の方の思いに触れることができたことは大きな成果でした。



遠足後に6年生児童が書いた、「白川のよさを守りたい」と題された日記を紹介します。

「今日の全校遠足で、白川の自然や文化遺産にふれることができました。大山白山神社は、千三百年の長い間も大切に守られていて、今なお美しい状態で残っていました。白山神社に行ってすごいと思ったことが二つあります。一つ目は、町文化財、拝殿の絵天井です。三十二枚の色彩画は、動物や人、花などの絵が描かれていて、どの絵もたくさんの色を使いあざやかで感動しました。二つ目は、国指定文化財、天然記念物の大杉です。周囲11.5メートル、高さ41メートルで樹齢千二百年余りのとても迫力のある大杉でした。大杉のまわりを囲んだ時、御利益が得られたような気がしました。最後に、今日、大山白山神社の説明をして下さった渡辺さんが私たちに言いたかったことは、今まで自分たちの祖先が大事に守り続けてきてくれた自然や文化遺産を未来を担う白川に住む私たちに守ってほしいということだと思いました。」